

夏期研修会のご案内

研修内容（要旨は裏面）

平成28年8月6日(土) 10:00~17:00

現代思春期の人間関係をめぐる現状と課題

— 第二次反抗期の消失が意味するもの —

筑波大学人文社会系教授 土井 隆義 先生

平成28年8月7日(日) 10:00~17:00

これからの統合的心理療法

— 治療に役立つ3ステップ・アプローチ —

青山渋谷メディカルクリニック名誉院長 鍋田 恭孝 先生

本研修会は、家族心理士・家族相談士の継続研修実績（3時間1P）の対象となります。

● 会 場 日本女子大学教育文化振興 桜楓会桜楓2号館 4階ホール
文京区目白台1-16-7 TEL. 03-3942-6090

● 定 員 120名

● 申込み
締切り 7月27日(水)

● 参加費

	締め切り前の振込(税込)	締め切り後の振込(税込)	一日のみ参加(税込)
協 会 員	19,440 円	20,520 円	各日 10,800 円
一 般	23,760 円	24,840 円	各日 12,960 円

※日本家族心理学会会員、学生、院生は会員と同額にいたします。

※上記の金額は消費税込の参加費となっております。

NPO法人日本家族カウンセリング協会

東京都杉並区梅里2-40-16 ビラージュ白井7F
TEL. 03-3316-1955/FAX. 03-3316-1956
URL <http://www.j-f-c-a.org>

■ 8月6日(土)

現代思春期の人間関係をめぐる現状と課題

—— 第二次反抗期の消失が意味するもの ——

土井 隆義(どいたかよし)先生

現代の若者たちはかつてのように激しい第二次反抗期を経験しなくなったといわれます。ある大学生調査では反抗期はなかったと回答した者が55%に達しており、家庭の中では良好な親子関係が広がっているように見えます。しかし同時に、中高生の約10%が自傷行為を経験しているという近年の調査もあり、思春期の若者たちの人間関係はかなり複雑さを増しているようです。そこでこの研修では、彼らの人間関係からうかがえる現代人の心模様と、その社会的背景について考えます。

【プロフィール】1960年、山口県生まれ。大阪大学大学院博士後期課程中退。現在、筑波大学人文社会系教授。社会学専攻（社会病理学・逸脱行動論・犯罪社会学）。今日の若者たちが抱えている生きづらさの内実と、その社会的な背景について、青少年犯罪などの病理現象を糸口に、人間関係論の観点から考察を進めている。

著書：『*つながりを煽られる子どもたち～ネット依存といじめ問題を考える～』岩波ブックレット、『*友だち地獄～「空気を読む」世代のサバイバル～』ちくま新書、『人間失格?～「罪」を犯した少年と社会をつなぐ～』日本図書センター、『キャラ化する／される子どもたち～排除型社会における新たな人間像～』岩波ブックレット、『「個性」を煽られる子どもたち～親密圏の変容を考える～』岩波ブックレット 他多数。

■ 8月7日(日)

これからの統合的心理療法

—— 治療に役立つ3ステップ・アプローチ ——

鍋田 恭孝(なべた やすたか)先生

心理療法には、さまざまな学派があり、さまざまなアプローチ・技法が提案されてきた。それぞれのアプローチは、ある病理・悩みには効果的であっても、異なる病理・悩みに効果がないばかりか、時にマイナスにも働きる。特に葛藤モデルをベースに発展した力動的アプローチは、ひきこもりの若者や摂食障害のように、生きる力の欠損を持つタイプには、空回りをすることが多い。心理療法のプロとしては、治療者・患者関係の微妙なやり取りとともに、認知の修正、不安の質の明確化、成長促進的な働きかけを常に心掛けなければならない。このような多面的な心理療法を演者は統合的アプローチと考えており、中でも治療の各局面にあった三つのモードを持つ3ステップ・アプローチが効果的だと考えている。当日、現場に役立つこのアプローチについてお話しする予定である。

【プロフィール】慶應大学医学部卒業後、同精神神経科助手、講師をつとめた後、宇都宮大学保健管理センター助教授、防衛医科大学校講師、大正大学人間学部教授などを経て、2012年まで立教大学現代心理学部教授として後進の指導及び研究に携わる。各大学病院では思春期専門外来、心身症専門外来、うつ病専門外来、精神療法専門外来を担当し、研究・臨床にあたる。特に、対人恐怖・引きこもり・うつ病の治療、思春期の臨床については、わが国をリードする臨床家の一人。医学博士、臨床心理士、日本精神神経学会認定専門医および指導医、欧州共同認定サイコセラピスト。日本青年期精神療法学会常任理事、日本サイコセラピー学会常任理事、日本心身医学会評議員、日本うつ病学会評議員。2007年日本精神衛生学会賞である「土居健郎賞」受賞。

著書：『*うつがよくわかる本』日本評論社、『*10歳までの子を持つ親が知っておきたいこと』講談社、『摂食障害の最新治療』金剛出版、『変わりゆく思春期の心理と病理』日本評論社 他多数。

●プロフィール中の著書名に*が付いたものを当日頒布いたします。

● 申込み方法

同封の振込用紙が申込書となります。必要事項を記入のうえ参加費をお振込みください。

指定の振込用紙がお手元ない場合は郵便局の振込用紙にて、通信欄に ①参加日 ②協会員/一般 ③お弁当予約 ④職業（一般の方のみ）を明記して下記口座までお振込みください。

* 参加費受領確認後、受講票をお送りいたしますので当日お持ちください。

* お振込み後1週間を過ぎても受講票が届かない場合は協会までご連絡ください。

● 振込先

郵便振替口座 No.00130-8-352278
加入者名 日本家族カウンセリング協会研修会

● キャンセル

申込み締切り日までのキャンセルは全額返金、前日までのキャンセルは半額返金いたします。
(いずれの場合も事務手数料(1,000円)と振込手数料を差し引かせていただきます。)

● 昼食について

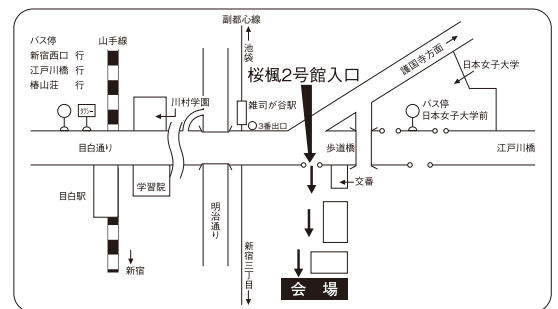
希望者にはお弁当（一食800円 飲み物付）の予約を申し受けます。振込用紙の記入欄にチェックし、参加費と一緒に振込みください。（会場への昼食の持ち込み可。周辺に飲食店は少ないです。）

● その他

申込み締切り後の参加希望の場合は必ず事務局までお問い合わせください。

● 会場は空調の設備上、室温の微調整ができませんので、各自着衣で調整をお願い致します。

● 会場案内図



◆ 交通案内

JR山手線 目白駅下車

- ・新宿駅より外回り（池袋方面）約8分
- ・池袋駅より内回り（新宿方面）約3分

目白駅前よりバス

- ・新宿西口行 女子大前下車（5つ目）
- ・江戸川橋行 //
- ・椿山荘行 //

目白駅前より徒歩 約20分

東京メトロ副都心線 雑司ヶ谷駅下車

- ・3番出口より 徒歩約8分